

**【事務事業調査】**

事務事業名	食に関する知識の普及事業費		予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
				001-040102 - 003 - 03 - 01 - 0
担当部署	健康福祉課	担当	健康づくり	事業の分類
		サブリーダー	田中圭子	

**事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	「健康たかねざわ元気計画」や「食育地産地消推進計画」に基づき次のような事業を実施する。各年代に合わせた食教育を実施する。特に中高年ではメタボリックシンドローム対策の教室を充実する。園・学校と協力し、幼児・児童生徒や保護者を対象とした教室や講話を実施する。園・学校のおたより、広報等を活用し「簡単朝ごはんレシ」や3食バランスよく食べることの大切さを周知する。「簡単朝ごはんレシ」を活用し、朝ごはんを食べることも家族そろって食事することの大切さを紹介する。親子での体験活動を通じて普及していく。継続して簡単朝ごはんのアイデアを募集していく。安心、安全な食材の知識を普及するため、地元産の食材への理解を深めてもらうよう、教室で紹介していく。たかねビア等のイベントを利用し、正しい食生活や地元産野菜の普及を行う。教室の卒業生等を食生活改善推進委員として育成し、知識の普及事業を実施してもらう。	正しい食生活を通して、生涯にわたっていきいきと暮らすことができるための知識を習得し、生活習慣病の予防と改善につながる。身近な指導の場を活用することにより、正しい食生活への習慣づけができ、健康な生活を送る力を身につけさせることができる。「簡単朝ごはんレシ」を用いた簡単な料理や手軽な工夫から、正しい生活習慣につなげられる。低学年のうちからの体験学習は、自分や家族の食事をつくるという経験となり、生きる力を身につけることとなる。地元産の食材(特に農産物)への理解が深まり、消費の拡大へとつながる。沢山の人が集まる場での啓発は、広い層へ知識を普及させることができ、食生活改善のきっかけとなる。身近な住民から普及してもらうことにより、地域へ浸透していく。
実績		

**活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
食事を1日3食食べる人の割合	90%		生活習慣調査より

**事業費(計画)**

番号	細 節	金 額	積 算 根 拠
1	賃金	2,060,000	栄養士(常勤)@8,240×250日
2	消耗品	141,000	試食用材料 @2,000×20回 調理実習材料5,000×12回 指導用パンフレット@100×30人 啓発用パンフレット@1,400×20冊 調理器具等10,000
3	印刷製本費	125,000	@50×2,500部
4	補助金	48,000	会員数×2000円
5			
6			
7			
8			
9			
10			
		2,374,000	

**事業費(実績)**

番号	細 節	金 額	特 記 事 項
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
		0	

**事業経費**

		計 画	実 績	特 記 事 項
予 算	当初予算額	2,374,000		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源	72,000		親子料理教室参加費@300×20人×12回
	計	72,000		
	差引(一般財源)	2,302,000		